

令和元年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

麻生 隆 議員

◇ひきこもりの実態と対策について

- ・「小中高の子どもたちの不登校」の対応と情報の引継ぎについて伺いたい。

(教育長答弁)

本県の不登校児童生徒数は、平成29年度の調査結果によりますと、1,788人であり、年々増加傾向にあります。対策としましては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置・派遣、24時間体制の電話やメールでの相談、加えて本年度開設しましたSNS相談などによる教育相談体制の充実を図り、不登校の未然防止・早期解決に努めております。

また、不登校児童生徒を含め、生徒指導面や児童福祉的な観点から、継続的な支援が必要である児童生徒につきましては、平成27年度に策定しました「引継ぎガイドライン」をもとに、小中高校の12年間を見通した引継ぎを徹底しております。

なお、卒業後、不登校児童生徒の情報を各市町へ提供することは、個人情報保護の観点から困難であると考えますが、本人・保護者等からの個別の相談には、平成29年度に県内全学校に配付しました不登校ひきこもり社会資源ガイドブック「つながらんば」などを活用しながら、支援の継続を図っているところです。

今後も、切れ目のないきめ細やかな対応と、個々の状況に応じた社会的自立に向けた支援に努めてまいります。